

マックス・プランク国際社会法研究所主催シンポジウム 「日本とヨーロッパの社会保障」

ドイツのマックス・プランク国際社会法研究所は、日本の国際交流基金、財団法人医療経済研究機構の支援の下、ドイツのケルン日本文化会館において1998年5月18～19日の2日間「日本とヨーロッパの社会保障」と題するシンポジウムを開催した。筆者は、「人口高齢化と社会保障制度」のセッションで「少子高齢社会と社会保障－日本の場合」と題して、日本の置換水準を大幅に下回る出生率の低下と将来人口、超高齢社会の到来と社会保障改革、少子化に対する家族政策的対応について報告した。筆者のカウンターパートである W. シュメール教授（ブレーメン大学社会政策センター所長）は、主として死亡率低下と中高年の平均余命の伸びが年金制度にどのような影響を与えるかについて報告した。シンポジウムのプログラムと報告書ならびに討論者は以下の通りである。

5月18日（月）

- シンポジウムのテーマ設定（序）
手塚和彰（千葉大学教授）
Prof. Bernd von Maydell, Max-Planck-Institut für ausländisches und Internationales Sozialrecht, München
- 「グローバル化と社会政策」
清成忠男（法政大学総長）
廣井良典（千葉大学助教授）
稲川順子（浜松大学助教授）
Prof. Jos Berghman, Universitat Tilburg（オランダ）
- 「人口高齢化と社会保障制度」
阿藤 誠（国立社会保障・人口問題研究所）
Prof. Winfried Schmahl, Unicersitat Bremen, Zentrum fur Sozialpolitik
- 「失業とそれとの戦い」
下村 健（健保連副会長）
高田一夫（一橋大学教授）
Dr. Werner Tegtmeier, Staatssekretar im Bundesarbeitsministerium, Bonn

5月19日（火）

- 「社会保障制度の基本理念としての自助と連帯」
富永健一（武蔵工業大学教授・東京大学名誉教授）
Prof. Wolfgang Mazal, Universitat Wien（オーストリア）
- 「社会保障制度の組織構造における公的・民間的要素」
手塚和彰（千葉大学教授）
Prof. Bernd von Maydell, Max-Planck-Institut, Munchen
- 「医療進歩と医療保険」
松田晋哉（産業医科大学助教授）
藤井良治（千葉大学教授）
Prof. Gunter Neubauer, Universitat der Bundeswehr, Munchen

- ・「社会的国家(福祉国家)における財政－可能性と限界－」

田近栄治 (一橋大学教授)

Prof. J. J. Petersen, Universität Odense (デンマーク)

(阿藤 誠記)

国際人口学会「男性の視点から見た生殖と家族形成 (Seminar on Men, Family Formation, and Reproduction)」に関するセミナー

同セミナーは、国際人口学会 (International Union for the Scientific Study of Population) の「人口とジェンダー」に関する専門委員会 (Committee on Gender and Population) の主催によるものである。会議はアルゼンチンのブエノスアイレス市で5月13日から15日まで開催された。

家族の在り様は、様々な社会的変容から影響を受けており、とりわけ女性と家族の関わり方については大きな変化をもたらしている。今回のテーマは、従来行われてきた女性の視点から生殖や家族をアプローチする方法ではなくて、ジェンダー関係を新たに男性の視点から見直すことによって、この問題を切り拓く試みをしようとするものであった。

セミナーは理論と実証の6つのセッションから構成され、そのタイトルは以下の通りであり、世界各国から23の報告がなされた。日本からは、筆者が第6セッションに、"Husband's Household Labour and Reproductive Behaviour-Case of Japan" と題する論文を提出、報告した (個別論文の内容等詳細については、IUSSPのNews Letter (No.61, 1998.5) に記載されているので関心のある方は参照してください)。

Session 1. Theoretical- Methodological

Session 2. Approaching Demographic Research from Men's Perspectives

Session 3. Sexuality

Session 4. Men's Life Transitions

Session 5. Role of Men in Contraceptive Behaviour

Session 6. Household Division of Labor, Fatherhood and Child Rearing

(西岡八郎記)